

# 46 その他

## 現地踏査の大切さと 新たなアイデア発想による可能性

福岡県土木施工管理技士会  
株式会社廣瀬組  
現場代理人兼監理技術者  
津 村 太 輔

### 1. はじめに

本工事は、筑後川水系一級河川：矢部川に架かる『幸作橋』の老朽化による架け替え工事に伴う先行工事として、仮橋を設置する工事であった。施工開始時期は10月1日の出水期明けからとなっていた。

主な工事内容として、上部工としてプレガーダー橋を幅W=10m、延長L=52m、下部工の基礎杭としてH鋼杭（H400）長さ約36mを42本、ダウンザホールハンマー工法により打込む工事であった。

#### 工事概要

- (1) 工 事 名：県道富久瀬高線  
幸作橋仮橋設置工事（1工区）
- (2) 発 注 者：福岡県南筑後県土整備事務所
- (3) 工事場所：福岡県みやま市瀬高町本郷地先
- (4) 工 期：令和3年8月11日～  
令和4年3月31日

### 2. 現場における問題点

#### 1) 仮橋上でのクレーン作業回避

当初、発注者による計画では工程進捗につれ、今回設置する仮橋上での施工を検討してあった。施工途中で200tクローラクレーンを一度解体し、200tオールテレーンクレーンにより、クローラクレーンを仮橋上に吊上げ組立てを行い、次工程の作業に移るようになっていた。そこが今回の施工の中で一番の危険なポイントと考えたため、吊り

作業による事故防止と安全側での施工が出来ないかの検討を行った。

#### 2) 施工時における堤防道路の通行止め回避

現地踏査及び測量を実施した結果、仮橋下部工の橋台を施工する際に発生する床掘作業時に堤防道路の通行止めが発生することが判明した。そのことを地元区長に説明したが生活道路になっているため工夫して通行できないかと相談された（図-2）。



図-1 道路加工前

### 3. 工夫・改善点と適用結果

#### 1) 仮橋上でのクレーン作業回避について

発注時の参考図面に記載のあった作業フロー図を基に現地踏査を実施し、作業工程を検討した。その結果、クレーンの作業能力と現地条件とを勘案すると陸上からのみでの施工が可能ことが判明したのである。発注者と施工順序及び工程を協

議し、仮橋上でのクレーン作業を回避することが可能となった。その結果、不安全な施工方法を取り除くことにより安全作業に繋がった。また、この施工順序により作業ヤードの制限が無くなり上部工施工が2班体制で施工が可能になったことと、作業フローを省略することにより当初予定より2週間程度の工程短縮ができた(図-1)。

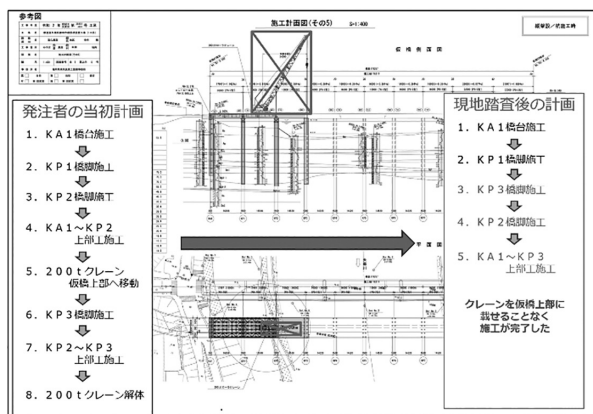


図-2 作業フロー図

## 2) 施工時における堤防道路の通行止め回避について

一緒に現場を担当した入社3年目の若手職員が現場付近を何度も歩いて往復しているうちにあることを思いついたと言ってきた。「ここの舗装を加工して掘ってあげることはできないか」最初は「そんなことできるか」と思ったが現地で説明を聞くとアイデアが湧いてきたのである。さっそく図面を起こし、発注者と市役所建設課の担当者に説明し、警察協議を行った上、了承を得た(図-3)。



図-3 道路加工後

その結果を地元区長に説明し、通行止めを回避することができた。このことにより地域住民に対しての建設業に対するイメージアップに繋がったと思う。

## 4. おわりに

今回、初めて仮橋を設置する工事に携わり、分からないことばかりであった。逆に分からないことばかりであったためか固定概念にとらわれることなく現地踏査をした結果、今までにないアイデアの発想が出来たと思う。

特に今後は団塊の世代の先輩達が引退し、若手や女性が活躍する時代が来ると思われる。よって我々中堅世代はそのアイデアを批判することなく評価し、慎重に判断していくことが望まれると思う。

また、そのためには建設業のイメージアップや働き方改革推進などを率先して取り入れ、若手人材の確保及び育成や女性技術者の活躍できる環境整備に取り組んでいかなければならないと思う。

また、今般ICT技術の発展は目まぐるしく、そういった技術の取り組みに若手技術者や女性技術者が活躍できる機会を与え、仕事へのやりがいや自信を持っていてくれるとこれからの建設業のさらなる発展へと繋がると思う。

今後、さらなる技術の向上を目指し、切磋琢磨しながら建設業界を盛り上げていきたい。